【静岡県立掛川工業高等学校】

令和８年度　第２回　学校運営協議会（報告）

日時：令和８年 11 月７日（土）
午前 10 時～12 時 00 分
会場：掛川工業高校　小会議室

１　開会

・校長挨拶

２　葛川祭参観

３　学校からの連絡・報告事項

・学校の近況報告について
・主な行事について
・３年生の進路状況について
・部活動の取り組みについて
・工業教育充実のための連携事業等について

４　研究協議　テーマ「公立高校の志願状況と、地域が公立高校に求める役割」

人口減少や少子化の進行、授業料支援の拡充等による私立高校への進学希望者の増加など、公立高校を取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、地域に根ざした公立高校として、今後どのような役割を果たしていくべきかについて意見交換を行った。
主な意見は以下のとおり。

A 委員：公立高校と私立高校の違いを明確にし、学校独自の魅力を発信することが重要である。授業料の実質的な負担が軽減される中で、これまでのような経済的な優位性だけでは公立高校を選んでもらうことが難しくなっている。私立高校では、手厚い進路指導や学習支援、充実した施設・設備などが魅力となっていることから、公立高校としての強みや独自性を明確にする必要がある。工業高校ならではの専門的な設備や実習環境を生かし、ものづくりに関心のある中学生にその魅力を伝えることが重要である。
また、地元企業との連携を一層深めることで、卒業後の就職先や将来の仕事を具体的にイメージできる機会を増やすことができる。進学においても、工業系大学との連携を強化し、推薦入試等も含めた進学の道筋を明確にすることが、中学生や保護者にとって魅力につながる。
台湾など海外の大学や企業との交流・連携を進めることで、生徒の視野を広げ、国際的に活躍できる人材の育成に力を入れることも考えるべきである。

B 委員：工業高校で身に付ける専門的な技術や、ものづくりの価値を積極的に発信することが重要である。

AI の進展によって単純な事務作業やプログラミング等の一部が自動化される一方、実際にものを作る技術や、設備を施工・修理する技能を持つ人材の重要性は今後も高まる。特に、建築、土木、電気工事など、専門的な技能を必要とする仕事は社会に不可欠であり、工業高校で身に付ける技術や資格、実践力は大きな強みになる。本校の高い求人倍率も魅力の一つであり、企業から必要とされている人材を育成していることや、卒業生の活躍を積極的に発信していくことが大切である。

C 委員：通学環境や多様な生徒への対応についても検討する必要がある。
学校選択において通学の利便性は重要な要素である。特に、天候や部活動終了後の時間帯などを考慮すると、駅から学校までの移動や送迎の負担が課題となることから、駅からの送迎手段の確保などについて検討してはどうか。また、授業開始時刻の柔軟化や、学科ごとの特色を生かした時間割編成など、従来の枠組みにとらわれない教育課程の工夫についても考えてもらいたい。
不登校や引きこもりの状態にある中学生が増加していることを踏まえ、オンライン授業等を活用し、多様な生徒が学び続けられる環境を整えることで、本校が新たな学びの選択肢となる。

D 委員：卒業生や地域とのつながりを生かした教育活動を推進することが重要である。本校には、国内外のさまざまな分野で活躍する卒業生がいることから、卒業生のネットワークを活用し、企業と学校、生徒と社会をつなぐ取組を進めてはどうか。卒業生による講話や企業紹介、職場体験の機会を充実させることで、生徒が将来の進路や仕事について具体的に考える機会を増やすことができる。

E 委員：他校との差別化につながる大胆な特色づくりと、強いメッセージの発信が必要である。本校が将来にわたって地域に必要とされる学校であり続けるためには、単に他校と同じような取組を行うのではなく、工業高校としての特色を明確にし、積極的に発信していくことが重要である。大学進学だけでなく、本校で学んだ技術や知識を生かして地域に貢献できる人材を育成するという、明確な教育理念を打ち出すことが必要である。また、海外研修などを通じて生徒の活動範囲を広げることや、部活動等においても全国大会を目指すような、学校全体の活気につながる大きな目標を掲げることも、学校の魅力化につながるのではないか。

学校より：委員から出された意見を踏まえ、学校としても、工業高校ならではの専門性やものづくりの魅力、企業・大学・地域との連携、卒業生とのつながりなどを生かし、本校の特色をさらに明確にしていきたい。また、すべての提案を直ちに実現することは難しいものの、今後の学校運営や教育活動の充実、学

校の魅力化、地域への情報発信等において、今回の意見を参考にしていきたい。

５　閉会・所連絡

(1) 議事録について

後日、ホームページに掲載する。

(2) 今後の予定

第３回学校運営協議会は、各学科の課題研究発表会を兼ねて、令和９年１月 19 日(火)以降に開催する予定である。詳細な日程については、後日案内する。

第４回学校運営協議会は、令和９年２月２日(火)に開催する予定である。